

(様式 1 - 表)

令和 8 年度 特色ある学校づくり推進事業 計画書

学校番号	31	豊田市立 岩倉小 学校	代表	萩原 由道
------	----	-------------	----	-------

※分野【a：国際交流・国際理解、b：地域連携、c：自然体験、d：環境教育、e：学力向上、f：交流体験、g：福祉・ボランティア、h：伝統文化、i：その他（ ）】から選ぶ。

テーマ	地域のよさを体感し、人とかがわり合っ、ともに学ぼう		分野	b	地域連携
	サブテーマ	地域の「ひと・もの・こと」にかかわる体験を通して	i(その他)は分野を右欄に記入		
学校づくりの視点（ねら）	1 地域講師・教材等、地域の学習素材を活用した「学び合い」の学習を通して、地域の歴史・文化、自然の豊かさや大切に気付かせる。 2 学校の教育活動と地域とのつながりを深めることで、児童には地域を愛する心を育て、地域の方々には、児童を地域で育てていこうとする機運を高める。 3 心の相談員や体力向上補助指導員とのかかわりを通して、心身ともに健康でたくましく活動する児童を育む。				
活動内容・計画	<活動内容> 1 1～3年生は、野菜の栽培活動や梅ジュースづくり、昔遊び交流会、大豆を使った収穫祭、学習発表などを通して、地域の人との交流を深める。 2 4年生は、地域より講師を招聘し、校地内の竹を使った炭づくりなどの体験・探究学習を展開する。また、地域の自然環境（生物）の調査に取り組み、学んだ成果を発表する。 3 5年生は、「地産地食」をテーマに、地域より講師を招聘し、米やシイタケ栽培などを行う。一方で栽培した食材をもとに食育に取り組み、その成果を学習発表会を通して、地域に発信する。また、6年生を送る会の企画・運営を通して、岩倉小の最高学年に向けての自覚を育む。 4 6年生は、岩倉の歴史・文化を探访したり、地域講師を招聘して話を聞いたりしたことをまとめ、学習発表会を行う。また、卒業プロジェクトの一環として、ボランティアさんに感謝する会を企画・運営したり、奉仕活動に取り組んだりして、最高学年としての態度や愛校精神を育むなど、心の教育を展開する。 5 心の相談員を活用し、不登校児童の対応や休み時間のふれあいを通して、児童の心の安定を図る。 6 体力向上補助指導員を活用し、児童の体力・技能向上を図る。 <計画> ・ 4～6月…野菜作りなどの栽培活動に取り掛かる。 ・ 6～11月…地域講師を招いた探究活動などを実施する。岩倉の自然について、現地調査や話を聞く会をもつ。地域講師を招いたり、歴史・文化について、話を聞いたり見学したりして、学習を深めてまとめる。 ・ 12～2月…収穫祭や学習発表会にて地域や保護者に活動を伝え、学習のまとめをする。				
補助員配置	・心の相談員…年間を通じて、授業中は教室巡回や不登校児童の対応、休み時間は児童とのふれあいや相談活動を行う。 ・体力向上補助指導員…年間を通じて教科体育の充実を図る。				
実績・期待される効果	1 実績 (1) 地域の人々とのつながりが深まる。 (2) 地域の歴史や文化、自然の豊かさを学び、郷土愛を深めることができる。 (3) 様々な体験活動を通して、心身ともに豊かな児童の育成を図ることができる。 2 期待される効果 学校だよりや学年だより、学校ホームページで特色ある活動を紹介するなど、保護者や地域への情報発信することで、学校の教育活動に対する理解を深めたり、協力を得たりする。				
検証方法	1 保護者アンケートの特色ある学校づくり推進事業の評価（数値と意見）から検証を行う。 2 学校運営協議会にて、地域の一員として、あるいは各分野の専門家としての立場から、学習活動についてご意見、ご助言をいただく。 3 校内評価に、進捗状況や成果など具体的に判断できる評価項目を設定し、その時点での評価数値やその後の評価、数値の変化から検証を行う。				